

続くダイヤモンドダストを見、平均で20°Cを超える俗世間にはない気温逆転層を観測していると、「もう1度」という気持ちもあった。

### 参 考 文 献

- 平沢尚彦, 木津暢彦, 1999: 気温急変時に於ける高層ゾンのアネロイド気圧計のエラーについて, 天気, 46, 141-146.
- 平沢尚彦, 山内恭, 1994: 南極域のOLR分布と極ジェットの変動の関連性について, 気象学会秋季大会予稿集, A359.
- 平沢尚彦, 山内恭, 1995: 南極域のOLR分布の季節内変動と大陸内陸域の雲量変動, 気象学会秋季大会予稿集, C101.
- 国立極地研究所, 1998: 第38次日本南極地域観測隊報告.
- Murata, A. and Yamanouchi, T. 1997: Distribution characteristics of clouds over East Antarctica in 1987 obtained from AVHRR, J. Meteor. Soc. Japan, 75, 81-93.
- Parish, T. R and Bromwich, D. H. 1987: The surface

wind field over the Antarctic ice sheets, Nature, 328, 51-54.

- Phillipot, H. R. and Zillman, J. W. 1970: The surface temperature inversion over the Antarctic continent, J. Geophys. Res., 75, 4161-4169.
- Shiotani, M. 1990: Low-frequency variations of the zonal mean state of the southern hemisphere troposphere, J. Meteor. Soc. Japan, 68, 461-471.
- White, F. D., Jr and Bryson, R. A. 1967: The radiative factor in the mean meridional circulation of the Antarctic atmosphere during the polar night, WMO Tech. Note, 87 (polar meteorology), World Meteorol. Organ. Geneva, 199-224.
- 山内恭, 平沢尚彦, 林政彦, 1999: 「南極大気・物質循環観測」の開始, 天気, 46, 157-162.
- Yamanouchi, T., Suzuki, K. and Kawaguchi, S., 1987: Detection of clouds in Antarctica from infrared multi spectral data of AVHRR, J. Meteor. Soc. Japan, 65, 949-962.

---

## 1999年度秋季大会「スペシャル・セッション」のテーマ募集

1999年度秋季大会(福岡, 11月下旬の予定)におけるスペシャル・セッションのテーマと世話人を募集します。スペシャル・セッションにおいては、世話人と講演企画委員会との協議のもとに、通常のセッション編成の枠にとらわれない企画ができます。具体的な実施方法については「天気」1994年2月号(78ページ)をごらん下さい。なお、申込テーマの重複や総数によっては講演企画委員会で調整をする場合がありますので、ご了承下さい。

応募される方は、下記の事項を期限内にお知らせ下さい。

1. セッションのテーマ
2. 趣旨説明(400字程度)
3. 世話人およびその連絡先(予稿コピーの送付先住所を明記のこと)

以上は秋季大会告示(「天気」6月号予定)の際に掲載されます。

申込先: 〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1  
気象研究所 予報研究部内  
講演企画委員会(小泉 耕)

申込期限: 1999年4月21日(水) 必着